

刊夕日二十月九

常磐每日新聞

定価 一月五拾五圓 郵費五圓
廣告料 五圓以上 二割 一圓以上 一割
日曜 祭日 休刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式會社

太陽の如く 熱烈なれ (下)

久野正雄

嘗て斯ういふ話を聞きまして、或家に放蕩息子があつた、両親は言ふに及ばず親戚の者までがどうにかして悔改めさせたいと、色々忠告したが、どうしても聞き入れなかつた、結局勘當する事となつて親族會議を開いて、應て關係者一同が勘當狀に記名調印する事となつた、愈々其の放蕩息子の父が記名調印せんとする時になると、今迄黙つて皆の云ふ事を聞いて居た母親が、俄に其の父親の手に取り、聲を立て、泣き出した、私は何してもあの子を勘當する事は厭だ、假令自分の持つて居る財産を全部無くされても、あの子を他人にしたくはない、どうか勘當狀に記名して下さるな——と、何しても筆を執らせなかつた。放蕩息子は自分の運命はどう極まるかと、其の日は家に居つたのであるが、料らずも母親の泣聲を聞いて初めて夢の覺めたる如く感じた、彼は是迄多くの人々の道理を盡して諫めた言葉には耳も借さなかつたが、今泣いて自分のために訴へてくれる母親

の真心に觸れては感激せざるを得ぬ、覺えず其の席へ飛び出し、自分の心得違のため多くの人々に迷惑を掛けたことを心から詫びたと云ふことでありませぬ、世間に子を勘當する親があまりす、然し親が其の子を勘當するのは親が其の子の真心を呼び醒すに足る熱烈なる愛を持たないことを白狀すると同様であります、それ程大なる恥辱はない、學生を退校さす教育家がありませぬ、教育家が學生を改悛せしむる力を有せざる事を廣告すると同様であります、それ程大なる恥辱はないのでございます。

諸君!!!太陽は鹽水からも淡水からも、谷間の清き流れからも、泥田の濁水からも、又臺所で流す白水からも、染物屋の藍壺からも、凡て同じに其の熱を以て純粹なる水分を蒸發させ、それを雲となし、霧となし、又雨となして萬物の生命を養ふのであります。吾等も亦善人からも悪人からも、卑屈な人からも、高慢な人からも、學者からも、無學者からも、凡て同じに我が真心を以て其の人の中にある真心を呼び覺まし、それによつて全人類に更生あらしめ、全世界に光明あらしむる地上の太陽として熱烈に、且つ眞實に生きようではありませんか。 終り



雑詠

大竹秋平

△湯の嶽の峰の白雲ひろがりて雷の鳴る雨となりたり
△ほがらかに明け放れ行く山峽の風ひえくと車窓掠め行く
△朝まだき起き出でた、む蚊帳の鏝うちふれて淋し獨りし住めば
△吹き通る青田の風にまひかひて夕餉食すなり獨居われは
△風の向き變りたりたるらし噴水のしぶきのなびきこち向きにけり
△たゞ一人のわが子なれども男なれば心強しと母は語れり
△忘るるともなく忘れぬたりし人をふと二夜續けて夢に見しかな
△からりと帆を上ぐる音聞ゆなりまだあけきらぬ川口の朝
△つゆ晴のこの朝早くわが友の障子を開けて髪すきて居り
△このゆふべ雨となるらし山々の頂きの雲凝りて動かす

貨切は

電話六四〇番

平二丁目

尼子タクシー部

主任 澤正路

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 醫學博士 難波睦
電話五〇二番

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付
小學生用……・85錢
同(特製品)……1・90錢
中學生用……2・80錢

なかや洋服店
平二・電502

外科

内臓外科 醫學士
整形外科 醫學士
外科一般 醫學士

松永憲一

平新川町十九

木村病院

◇産婦人科院長從前通り診療

第一郡下模型飛行機競技大會

主催 いづみや玩具店
後援 常磐毎日新聞社

- 一、時 日 昭和六年九月二十日(日曜日)當日天候不良の際は次の日曜日
- 一、場 所 平第一小學校々庭
- 一、参加資格 當店より御買上の方なれば誰人を問はず参加出来ます
- 一、参加申込 開催前日迄に當店へ御申込の上参加券を御請求下さい
- 一、参加飛行機 種類を問はず當店より御買上の材料にて自作したる物に限る事
- 一、競技 競技は距離及び耐空時間によつて之を定め飛行回数は一機三回とし一名にて二機迄差支へなし但し機体の長さ二尺以上(A)二尺以下(B)の二組に分つ
- 一、審査 審査は係員に一任し、不平を申出ざる事

- 一、賞品
 - 一等 美術置時計 一個
 - 二等 大正琴 一個
 - 三等 活動寫眞機 一個
 - 四等 ハイモニカ 一個
 - 五等 カメラ 一個
- 等外の参加者にも全部記念品を贈呈す
尚詳細は主催店へ御問合せ下さい印刷物を差上ります
何んでも揃つて一番安い

玩具店へ

阿康藥舖

靈藥ムテキ

切斷の苦しみなく……

ゆびはれ、やけど、淋病、梅毒、きりきり、乳はれ、くさ、りうます、其他化膿するもの一切

發賣元 阿康藥舖

縣社下古鍛冶町(電話四四番)

米國製藥(無臭)レメドール
有偽物 要注意
丹波博士創製 セキトメ

たんばんあめ

ヤケド、ヒビ、其
他ヒフ病一切ス
グキク効力本位
うまくてセキ
ガヨクトマル

昨夕・小名濱海岸へ

津田沼機不時着陸す

原因は發動器の故障 時節柄大騒ぎ

昨十一日午後三時頃平町上空を二百米の低空飛行して行つた飛行機は同三時十五分小名濱上空に差懸つた際發動機の故障から同海岸に不時着陸を行つたが同機は千葉縣津田沼飛行場の佐々木二等飛行士で仙臺よりの

歸途富岡附近より發動機に變調を來たし遂に小名濱海岸へ不時着を餘儀なくされたもので小名駐在所員青年團等の援助のもとに同四時修理完成したので直に千葉縣へ出發したが時節柄一時は大騒ぎであつた

差押へ 鑛區の競賣を行ふ事となり目下手續中である同競賣は最近殆ど執行されなかつたので非常に狼狽してゐる様である

貧困者救済に 絹毛糸の講習

町當局の社會政策

米爾共に昨今の相場は尻上りとなり農民はやうやく困憊の極より救済されんとしつてゐるのに獨り都會人はその特點を附與されず依然窮乏に泣いてゐるので平町當局ではこれを

救済せん とするには都會人の副業が必要である各種の研究中であつたが今回絹毛糸の利用範圍が真綿

鑛區競賣斷行に 鑛業界が狼狽す

逐年深刻化する不況に石城地方の炭礦界に於ける鑛業税、採掘税等の滞納は著しき數を示し平稅務署では之が督促に

大童となつてゐるが更に成績あがらず止むなく鑛區差押へを執行したが年柄でもあり出來得る限りの寛大な態度をとり分納等の便宜方法も講じてゐるがな

清梨の齒あたり 秋の食卓がもつ 唯一の都會趣味

このへんの梨の大部分は「長十郎」で占められてゐる然し、まぢのヤングメンは「二十世紀」の青い肌ざはりを好む、この二つは味覺からいつても近代趣味から云つても梨の大關と謳はれる

田子派の 遊説日程

を試みる由である

十五日	午後一時	下永井
同日	三時	上永井
十六日	午前十時	高野
同日	午後一時	大野
十七日	午前十時	下市萱
同日	午後一時	中市萱
十八日	午後一時	大野
同日	六時	四倉
十九日	午後一時	大浦
同日	六時	草野
二十日	午後一時	綴
同日	六時	宮
廿一日	午後一時	好間
同日	六時	町田
廿二日	午後一時	赤井
同日	六時	平窪
廿三日	午後一時	桶賣
同日	三時	川前

今日話

冷水浴又は冷水摩擦の効果といへば何よりも先づ皮膚が丈夫になる事である、それがため寒暑に堪へる力が増す、つまり感冒にかゝらない、たとひ罹つてもせいゝ鼻水が出るか咽喉が痛む位の程度で全快する、感冒が進行すると氣管枝炎になり遂に炎肺を併發することがあるが、冷水浴で丈夫にした體の人は絶対に氣管枝炎になるやうな事はないといつて良い、何れにしても呼吸器系全體を通じて丈夫になるのである、冷氣のために深呼吸をすることもなるので自然肺も丈夫になる、たゞ年齢又は體質習慣等を考へる必要がある、一般的な方法としては如露の様なので先づ頭からかけ、顔、肩、それから全身に及ぼすが良い、水の量はせいゝバケツ一杯の處でよい、後でかわいたタオルでまづ赤になるまで摩擦する、冷水摩擦はたゞぬれ手拭を絞つたもので摩擦するだけであるが、それでも効果は充分ある

石城繭取引状況

四倉繭市場(十日)
(白繭)(最高)三圓二六六
(最低)二圓七十八錢
(別)三圓九錢
△四倉繭市場(十一日)
(白繭)七二貫七百四十
(最高)三圓二十二錢(最低)二圓七十九錢(別)三圓十錢 賣上代金二百廿一圓六十四錢

平町人事

△古鍛冶町九二 渡邊力藏氏三女節子
△堀ノ内三五 靴製造業山本勝次郎(二六〇堀ノ内九 大塚フミ(二三三) △堀ノ内十四 菅野トク(三三三) □死 亡

毛糸と編物用具

全部新色 二。一。三 入荷致しました 命の御用程 相變らず

平田町 ハシモトヤ 糸店

赤井嶽藥師祭

人出無慮十萬

模様ハツピの踊子

足拍子のおかしさ

東北の靈山新義真言宗の巨刹關伽井藥師祭は昨十一日夜から今朝にかけて盛大に行はれたが今年好天に恵まれたせいにかその人出は豫想を突破して無慮十萬人と言はれたが地元赤井村では消防隊を召集して之が徹宵警戒にあたらせ平署よりも十數名の警官應援出張したが當日の臨時列車はいづれも満員にて各列車から吐き出された模様ハツピの踊り子たちはまづ赤井驛

前日の櫓太鼓に足拍子を合はせながら登つてゆく姿のおかしさに最初の試みとして始めたこの大櫓の趣向は大成功であつたと赤井驛當局者は大喜びであつた一方自動車は平常より十五臺を臨時増加して三分間おきに往復し登山客の便宜を計つたが當日最も人目をひいたのは茨城縣から二百數十名の自轉車隊で假裝行列式に來た一行であつたと

踊りの最中に

あはや血の雨

赤井嶽の祭り

とんだ人騒がせ

平町堤の内深谷小四郎(三〇)四倉町字松頭鈴木吉松(七〇)の兩名は昨夜十時頃赤井嶽の祭例に行き樂師堂前にて踊り狂つて居た際隣で踊つた居た石城郡小名濱町字竹町鮮人日本名花山覺及び内郷村字鬼澤木村辰五郎(七〇)と口論を初めたので深谷は突然鐵拳を以て花山の右目を突上げたので花山は悲鳴と共に昏倒木村は腕腹部等に全治一週間の打撲傷を

無産派の

時局批判 靜肅

盛會を極む

全國勞農大衆黨の第二回時局批判演説會は昨夜七時より聚樂館に於いて開催されたが此れより先聽衆は陸續として詰かけ開會迄には上

下階共満員の盛況裡に開會各辯士いづれも前回の解散問題と此が警察官の取締法を攻撃し殊に中央巡邏の淺原、田中、細田、三輪の各辯士は熱辯を以て古代の警察制度紀元から痛烈に批評し除々に現代政治家金融業者を槍玉に上げたが當夜は一言の注意中止もなく最後迄靜肅に同十時散會した

明日のラジオ
十三日
放送台

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間少年音楽講座「うたのおけいこ」第二講 佐々木すく
- 後六、三〇 聯珠講座「趣味の珠法」三九段高木樂
- 後七、三〇 講演「乃木將軍の那須野に於ける私的生活を憶ふ」綿貫晴文
- 後八、〇〇 謡曲「俊寛」水道橋實生會樂堂より中
- 後九、〇〇 ギャイオリン獨奏「アレキサンダー」モリフスキ「ピアノ」伴奏「ナデジタロイヒテン」ベルク
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 生齋相場
- 明日の部
- 前九、一〇 營養料理「鯛蒸し」營養研究所
- 前九、三〇 (子供の時間)

四十年の仲を忘れ

老夫婦の醜さ葛藤

爺の亂行に耐えかね 婆遂に三下り半呈上

警城郡飯野村大字中山字藁谷渡邊カヅ(五七)は別居中の夫渡邊吉太郎(六〇)に絶えず棒切れ其他で毆打され殊に五年前は肋骨を折られ本年四月にも右腕に四週間の傷を受けた始末で實家の同村大字上荒川字草木新田志賀傳五郎方に身を寄せて居り親戚や知己に依頼して夫の亂行を沈めんとしたが今以つて夫が心を入替ぬので夫との間に數人の子供を持つ間柄ではあるが離婚せしめて呉れと本日平署人事相談所へ願出た

司法保護宣傳デー

石城佛敎慈善會及び平自營會は福島縣聯合保護至道會と共力して十三日の司法保護宣傳デーを大々的に行ふ事になつたが前記自營會慈善會の事業は福島刑務所平支所から社會に送られる刑餘の人達を保護し善導する

金澤訓導

香港へ出向

十四日出發

平第一小學校訓導金澤潤氏は今回外務省より英領香港へ出向を命ぜられ十四日出發することになつたが同地在任日本人兒童の教育に従事するものであると

警中体育部

晴の征途へ

けふ出發す

第十回縣下中等學校柔剣道並に陸上競技大會は明十三日會津中學(柔道)若松商業(剣道)安積中學(陸上競技)の三ヶ所にて開催されるが警城中學體育部では選手廿余名應援團五十余名一行が今朝八時五十分平發磐越東線にて一路征途へ上つた

平映畫界

時は中秋九月の映畫觀賞に有聲座のプログラムをみる市川玉太郎、鈴木澄子主演「鈴木新内」は嘗て講談俱樂部に連載された浪六物、青柳龍太郎大熱演「俠艶一代男」八巻、宮城直枝、中村園枝、大井正夫共演「大阪オンパレード」は華やかなジャズ物である(入場料は大人十錢 小人五錢)

科人婦。科産 院醫坂井

町田町平
番九五五話電

應援中の失言

來る二十日縣下女子體育大會に出場する警女選手は總勢四十余名あるのだがその顔觸れが未だに發表されぬとは云へ毎日天下に猛練習を續けてゐるためいづれも赤銅色に日やけした健康ぶりの、長島教諭の仰せに「策戦があるんだから減多に發表出来るかい」とある、聞いてゐた應援中の生徒「あれぢや、どれが誰だか見分けも付かないからネ」

オオーケストラ 指揮奥山貞吉

後二、四五 浪花節「清水の次郎長」廣澤虎造

後六、〇〇 (子供の時間) 新日本音楽 石川とよい

後六、三〇 講演「軍神乃木將軍を偲ぶ」陸軍大將吉田豊彦

後七、三〇 新内「道中膝栗毛」富士松加賀太夫

後八、〇〇 浪花節「乃木將軍遺族慰問」ちの浦孤舟

後八、三〇 俚謠 神奈縣三崎町

後九、〇〇 長唄「時雨西行」吉田太郎外大勢

小説 七五郎

(三十四)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

俠妓歌治 (20)

『今晚だなくつたつてい、ぢやないかそんなに今更あはて、行かなくつても私は後でもよいよ。まあ今晚は止めにしたらどうぢやない。』
『い、え、早い方がい、わ。一時間でも早く貴郎とね。オホ……ちよいとその呼鈴を押して頂戴。一ツ飛に自動車で駆込んでやるわよ真にくらしい人だわ、速く面會してこの始末をつけたいわ。ね。ちよいと、往つて來ますわ。』

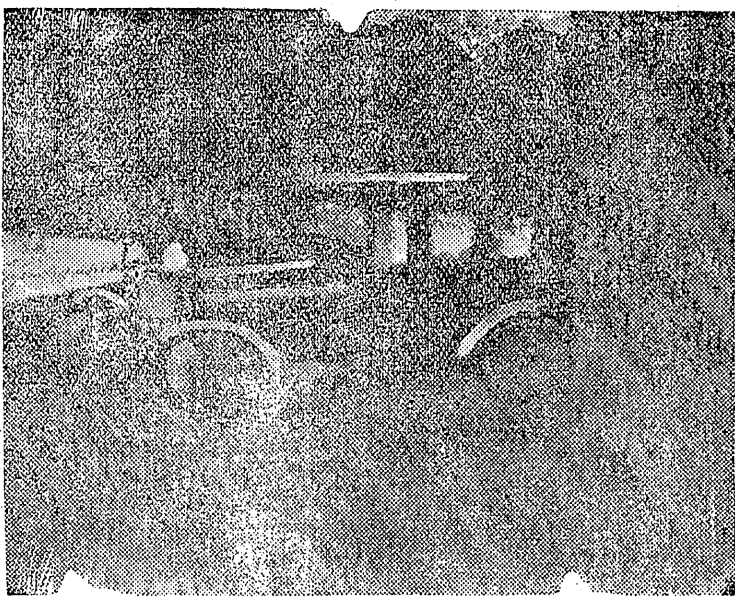
『イヤ——こいつはえらい勢ひだな。』
川島は電氣ボタンを押しながら。
『俺も一緒に行き度いが一寸まづいから止さう。ぢや兎に角。その金を取つて呉れ。』

『あ、然うでしたわ』
歌治は思ひ出したやうに卓上に乗つた紙幣束へ目を流した。

『それは貴郎にお預けしとさせようよ。そして歸つて來てから御一緒に箱根邊りへでも出懸けようぢやありませんか。』
『然うか。ぢや、その費用にするか。』
『あ、嬉しいことよ。何だ

か急に夜が明けたやうよ。』
自動車の來るまでのうちに歌治はちやんと家へ電話をかけた。そして着換とコートやスカーフやを取寄せて湖月の前から直とそれへ乗つた。
ちやうど十一時、折柄のそ

眠状態のやうな氣づかはしい眼を苦しき息づかひの下に續けて居た。と静かに襖をあけて其病室を見舞つたのは歌治の父の清作であつた。
清作はそろりと襖を開けてしとねの外から顔を出した『お嬢さま。お嬢さま。』
忍び聲に呼ぶのが、父の枕元に坐つて凝つと寝顔をまもつてゐた千代子の耳に入つた。彼女は静かに返返つて。
『爺やかい、あら、まだ起きてゐたの。』
『はい。御容体は如何で



ぼふる雨を衝いて車は霧地に南へブ——ブ——！
× × × × ×
その夜の十文字家はいつにない陰鬱な怪しい空氣のうちにて更けていつた。奥の十疊の間には主人の半兵衛が千代子と二人の女中とに看護られつゝ、ほとほと嗜

『お、これはよくよくお睡みなすつてゐらつしやいますね。だが少し息の工合が……』
と心配さうに言つて首を引込めた途端に病床の裾の方へ坐つた女中が今にもめりさうな姿勢でこくりこりとやつてゐるのが目についた。
『おう……。さかんに漕いでゐる漕いでゐる。牛込見附に浮いてゐるヨチ……。ポートの神樂坂の藝者だつてあんな格好はしやしねえ。アハ……。是だから奉公人は仕様がねえなア。』
淋しく笑つて太息をつきながら何事か口の中でグズグズ言つた。

御用命は總の印刷物
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

市原醫院
平町田町
電話一四番
耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

秋の中折帽特賣
生地・染色・色彩に
31年秋の最新流行中
折帽子を六種のベスト
プライスで提供致します
鳥打帽子 三五ヨリ
ベール 二五ヨリ
平5丁目電353モリタヤ洋品店

難波醫院
平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番
無料検眼
各眼科院御用
本根 時計 眼鏡 部

美味！ 芳醇！
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番
上田外醫院
平町南町
電話二一九番

内科小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番
文具破格特賣
半額、三割引、二割引
白運動靴 五十錢 九半以下
六十五錢 九七以上
マルカ運動具部
平町前
電話三十二番